

日本特殊陶業株式会社 第116期 中間株主通信

2015年4月1日から2015年9月30日まで



やっ  て み よ う ♪
ニットの挑戦を。


ニットの挑戦 **検索**

NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック

日本特殊陶業

証券コード:5334





新化における 改革を断行中

代表取締役
取締役社長
社長執行役員

尾堂 真一

株主の皆様には、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年3月期第2四半期は、ギリシャ問題や中国における景気減速による景気の先行き不透明感が見られたものの、米国や欧州においては景気回復基調が持続し、生産性向上や合理化、さらには円安を追い風に、業績は期初予想を上回る結果となりました。

2016年3月期は、長期経営計画「日特進化論」における「新化の3年」の最終年度になります。「新化の3年」は、「新製品・新ビジネスの立ち上げ」を基本方針としていますが、「新化」から「進化」へとつなぐべく既存ビジネスの拡大にも注力しています。自動車関連事業では、7月に米国の自動車補修用部品を主力製品とするWells社の事業を取得（子会社化）しました。これにより当社グループの全世界での販売網を活用したシナジー効果を実現して、補修市場のさらなる強化を図り、現業と新ビジネスの加速度的な発展を目指していきます。テクニカルセラミックス関連事業では、経営資源の最適配分を目的とした「選択と集中」を進めており、4月に半導体製造装置分野において高い加工技術力を持つ日本セラテック社を子会社化しました。今後は当社の素材からの技術開発力や全世界での販売網を活用し、さらなる競争力の向上を目指します。

当社は、「日特進化論」の最終ステージである「進化の3年」に向け、引き続き新製品・新ビジネスの立ち上げ、グローバル競争に勝ち残るための新市場の攻略、「選択と集中」による事業再構築を重要な経営課題ととらえ、今後も攻めの投資を継続していきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新規事業トピックス

水素漏れ検知センサ量産に向けて

当社は、環境への貢献が期待される燃料電池車(FCV)向けの製品として「水素漏れ検知センサ」を開発し、量産に向けて準備を進めています。燃料電池車は画期的な次世代自動車として期待されている一方で、燃料である水素が漏れた場合の安全確保が必要であり、水素の漏れを検知するセンサに対するニーズが高まっています。当社の水素漏れ検知センサは「熱伝導式」という新しい検知方式で、ヒータ(検知素子)から水素が奪う熱量を計測することで水素の有無を高精度に検知します。



検知のしくみ

航空機部品加工用 新製品『BIDEMICS』

テクニカルセラミックス関連事業トピックス

機械工具事業を強化

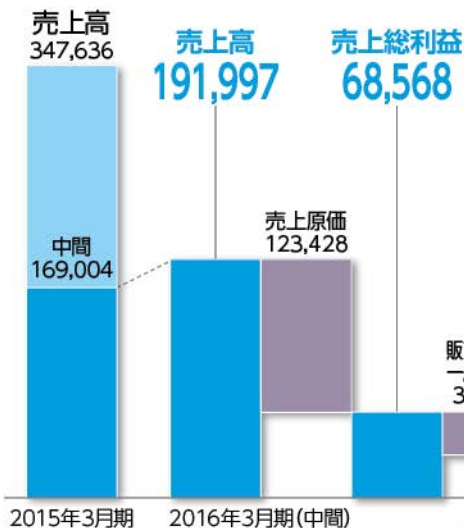
当社は、スパークプラグをはじめとした自動車関連事業のみならず、セラミック工具などの機械工具事業を全世界で展開しており、切削能力の高い工具を各産業分野に提供してきました。機械工具は、今後さらなる需要の高まりが期待されており、その需要に対応する必要があります。このような需要に対応すべく、韓国に新工場を建設し生産能力を増強することとなりました。また、切削することが非常に困難な「航空機部品」の切削において、高速・高能率加工を実現した新素材『BIDEMICS』を使用した切削工具を開発し、販売を開始しました。

韓国NTK
セラミック(株)
新工場



連結業績ハイライト

(単位：百万円)



営業利益の増減分析

(単位：億円)



販売費及び一般管理費

34,597

営業利益

33,971

営業外収益

2,472

営業外費用

2,682

経常利益

33,761

特別利益

36

特別損失

15,044

法人税等

5,977

親会社株主に
帰属する
中間純利益

12,628

※上記グラフは非支配株主に帰属する中間純利益(147百万円)の表示を省略しております。

POINT

2016年3月期第2四半期の業績について、売上高は3期連続の増収、営業利益および経常利益も3期連続の増益となり、これらの数値は過去最高を更新しております。なお、純利益においては、2014年8月に発表いたしました米国反トラスト法違反に関連して、一部の顧客に対する和解金148億37百万円を特別損失として第2四半期に計上しましたので、前年同期比で37億7百万円減少しております。

通期予想

(単位：百万円)

2016年3月期

売上高 **391,500**

営業利益 **68,000**

経常利益 **69,500**

親会社株主に
帰属する
当期純利益 **36,000**

売上高営業利益率(単位：%)



ROE

(単位：%)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

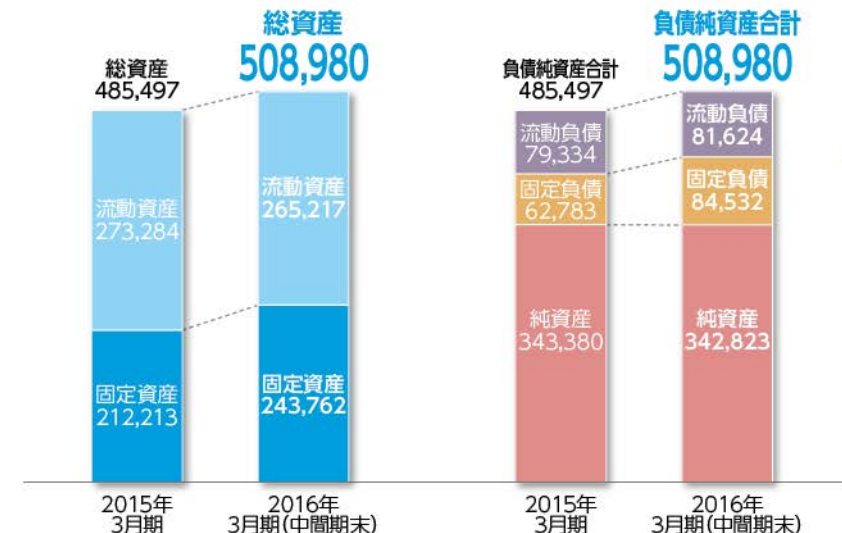
(単位:百万円)

POINT

2016年3月期におきましても、主力の自動車関連事業をさらに強い事業にするために、2020年に向けたグローバル生産体制の構築を進めており、積極的な投資を行っております。また、「将来の事業拡大」のためのM&Aにも積極的に資本を投入しており、日本セラテック社(2015年4月1日付)およびWells社の事業を取得(2015年7月1日付)しました。

POINT

当社は株主の皆様への安定的な利益還元を経営における最重要政策のひとつとしております。このような考え方のもと、直近のみならず、この先の事業環境なども十分に考慮し、中間配当金につきましては、予定通り21円(前年中間比3円増配)とさせていただきます。なお、期末配当金につきましても21円を予定しております。

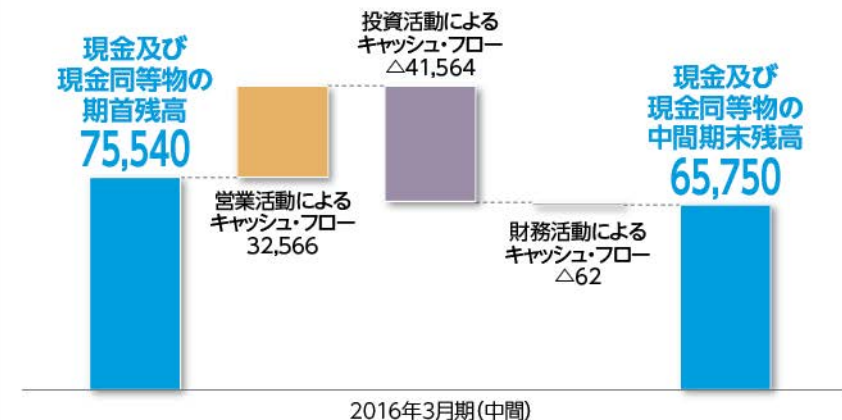


連結キャッシュ・フローの概要

(単位:百万円)

配当金

(単位:円)



※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額(△729百万円)の表示を省略しております。

詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。

<http://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

自動車関連事業



自動車関連

売上高 1,597 億円
営業利益 355 億円

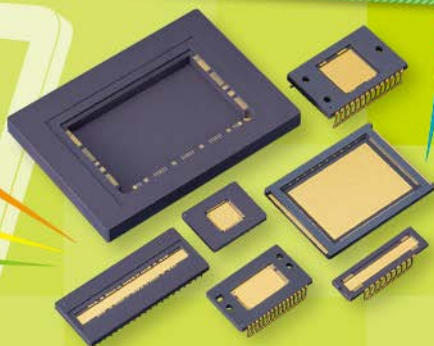
第1四半期に引き続き、北米や欧州を中心として自動車販売が伸びており、為替相場においては円安基調を受け、売上高が堅調に推移しました。また当第2四半期から米国のWells社事業を取得し、連結子会社としました。この結果、前年同期と比べ当上半期の売上高は12.4%アップの1,597億76百万円、営業利益は6.5%アップの355億51百万円となりました。

テクニカルセラミックス 関連事業

半導体製造装置用製品の需要は堅調ですが、携帯電話用ICパッケージは客先所要の低迷により売上高が伸び悩みました。一方、収益面では生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めてきました。この結果、前年同期と比べ当上半期の売上高は40.4%アップの194億72百万円、営業損失は17億55百万円(前年同期は44億38百万円の営業損失)となりました。

半導体関連

売上高 194 億円
営業損失 17 億円



セラミック関連

売上高 107 億円
営業利益 2 億円

工作機械向けの製品出荷は、主に欧州や東南アジアを中心に堅調に推移しました。また産業機器や医療関連の製品出荷も堅調に推移しました。この結果、前年同期と比べ当上半期の売上高は1.6%アップの107億51百万円、営業利益は21.0%ダウンの2億45百万円となりました。



※他に、「その他」の区分として、売上高19億96百万円、営業損失69百万円があります。※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

地域防災力の向上に
貢献している事業所
として、総務省および
消防庁より感謝状を
頂きました

鹿児島
宮之城工場

当社は、「地域社会への貢献」を企業理念に掲げていますが、中でも消防団活動の重要性を深く理解し、就業時間中の出勤に際しては可能な限り団員の出勤に配慮し、訓練等においては勤務調整を行い活動に参加しやすい環境づくりに努めています。

このような活動が認められ、総務省および消防庁より感謝状を頂きました。その他にも鹿児島宮之城工場では、防災車両の寄贈や消防団車庫建設費用の寄付、ドクターヘリ離着陸場としてグラウンドを提供するなど、地域防災力の向上に積極的に取り組んでいます。



宮之城工場内での
訓練の様子

中東NGKスパークプラグ(株)は、CSR活動の一環としてUAEの環境NGOが主催する「グリーン・アップUAE」に参加しました。本活動はボランティアによる清掃活動を通じて環境保護を啓発する事が目的であり、昨年もUAE全7首長国104箇所において計12万人が参加した、同連邦における環境保護の一大イベントとなります。同社からも全社員23名が参加し、ドバイの砂漠に落ちていたゴミ拾いを行いました。当社グループは、今後も継続的に企業による社会貢献に努めて参ります。

中東NGK
スパーク
プラグ(株)

「グリーン・
アップUAE」に
参加



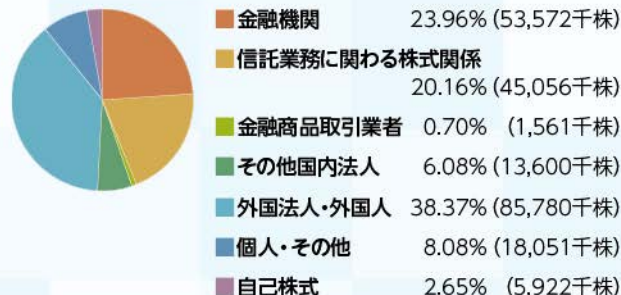
株式会社データ (2015年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	223,544,820株
株主数	11,481名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	16,752	7.70
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	16,106	7.40
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	11,676	5.37
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	10,002	4.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,541	3.01
全国共済農業協同組合連合会	6,138	2.82
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.81
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505223	3,691	1.70
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,659	1.68

当社は、2015年9月30日現在自己株式を5,922千株保有していますが、上記大株主から除外しております。
持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	同上
上場証券取引所	東京・名古屋(第1部) 電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/
公告の方法	(ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック

日本特殊陶業



事業内容や財務情報の詳細は
当社WEBサイトをご参照ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>



UD FONT



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。